

平成28年度 当初予算（案）のポイント

予算の規模【過去最大】

会計区分	平成28年度当初	平成27年度6月補正後	増減率
一般会計	1,776 億 万円	1,672 億 2,400 万円	6.2
特別会計	1,052 億 7,100 万円	1,030 億 7,000 万円	2.1
水道事業会計	193 億 5,600 万円	175 億 7,000 万円	10.2
下水道事業会計	220 億 3,900 万円	224 億 5,700 万円	△ 1.9
計	3,242 億 6,600 万円	3,103 億 2,100 万円	4.5

特徴

- 新規事業 51件 4億3,900万円
- 拡充事業 46件 13億800万円増（対前年度比）
- ＜地方創生関連事業（新規+拡充）＞
- 86事業 13億3,100万円
- 商工業の振興、農林水産業の振興
- 子育て支援、快適な都市構造の形成など

- 普通建設事業費 262億円を確保
- ・碩田中学校区新設校施設整備事業 51億円
- ・県庁前古国府線街路事業 11億6,000万円
- ・小屋鶴住宅建設事業 7億円
- 社会保障関係費（扶助費）522億円（対前年度比 26億9,000万円増 5.4%増）
- ・臨時福祉給付金 13億2,000万円増
- ・保育所等給付費 8億2,000万円増

- 行政改革の取り組み 12億4,000万円
- ・人件費の総枠抑制 5億4,000万円
- ・自主財源の確保等歳入増 5億3,000万円（市有地売却・貸付、ふるさと納税等）
- 基金の活用 25億円（対前年度比10億円増）
- ・財政調整基金 15億円
- ・市有財産整備基金 10億円

政策の推進 『3つの創造・連携・実行』

※ ①：新規事業

★：拡充事業（金額は対前年度比）

（単位：千円）

誰もが安心して笑顔で暮らせる社会の創造

○安心して子どもを産み育てることができる社会の実現

- ① 市立幼稚園での「一時預かり」をモデル実施（3園17:30まで） 10,682
- ① 子どものいる世帯とその親世帯の近居・同居を推進 1,050
- ★ 子育て相談ファミリーパートナーを3名増員（6名） +12,030
- ★ 待機児童解消に向けた取り組み +264,711
- 私立保育所等の新築・増改築を支援（120人の定員拡大）
- ★ 多子世帯の保育料を軽減（保育所等・幼稚園）【影響額 193,413】
- 【国】年収約360万円未満世帯 多子計算の年齢制限の廃止（第3子以降無償・第2子半額）
- ※市単独拡充 3歳未満児の軽減措置対象については、所得制限無

○教育のさらなる充実

- ① 教育シンポジウムの開催 1,880
- ① 中学生の学力向上を図る（教科指導マイスターの派遣5名） 14,249
- ★ 特別支援等教育活動サポート補助教員8名増（113名） +12,137
- ★ スクールソーシャルワーカー10名増（15名） +31,064
- ★ 児童生徒の体力向上を図る（専門家の派遣） 5校増（25校） +407
- ★ いじめ・不登校等未然防止対策 +4,080
- 学級集団検査hyper-QUの拡大実施 小中12校増（28校）
- ★ 贈与型奨学金（未来自分創造資金）の対象を10名増（20名） +1,000

○防災・減災対策

- 大分市国土強靱化地域計画の策定 2,000
- 沿岸部の鶴崎・大在・坂ノ市・佐賀間に同報系無線を整備 510,000
- ★ 被災者救援物資等の備蓄の前倒しと帰宅困難者への物資も備蓄 +50,137

産業力の強化による活力の創造

○産業力強化に向けた計画 新たな事業の創出

- 第2次大分市商工業振興計画の策定 1,386
- 大分市農林水産業振興基本計画の策定 2,144
- ① 水素エネルギー導入の推進 14,500
- 水素活用計画の策定着手、燃料電池自動車の購入補助（1台50万円）
- ① バイオマスの利活用による事業化に向けた可能性調査等 15,223

○中小企業支援の充実

- ① 知的財産権取得の促進…特許及び実用新案の申請・出願経費を補助 1,000
- ① 海外販路拡大支援として契約書作成等のサポート 3,900
- ★ 製造業設備投資補助…補助対象枠を5社拡大（15社→20社） +9,317

○農林水産業の振興

- ★ 新規就農者給付金対象者の3名増を目指す +4,500
- ① 新規就農者への支援 35,800
- （ファーマーズカレッジ/新たな担い手経営開始等支援）
- 就農後の居住支援、生産基盤整備を支援（法人含む）
- ① 農業者への支援（農業パワーアップ/農業用機械等共同利用促進） 22,913
- 先進技術の導入、研修費用や農業用機械等の共同購入を支援
- ① 農産物の商品化や販路拡大に向けた取り組みを支援（6次産業化） 23,901
- ① 林業振興（林業従事者の育成/森林資源利用促進） 7,720
- 林業従事者の研修や居住支援
- 間伐に必要な作業道の開設や補修等の経費を補助

○有害鳥獣による農作物被害への対策

- ★ 猪防護柵設置費や狩猟免許取得費に対する補助対象枠の増 +20,080
- ① 捕獲されたイノシシ等のジビエ利活用に向けた取り組み 3,000

次なる時代を見据えた新たな魅力の創造

○国内外の観光客の増加を目指す

- ① 大分市観光戦略プランの策定 4,320
- ① 外国人観光客に対して免税店の情報発信（HP等の作成） 8,905
- 近隣市町村と広域圏連携した観光魅力創造事業【3月補正前倒し】 55,300
- ・大分都市広域圏観光PR事業…圏域を周遊する観光プランの造成
- ・JR西日本や県と連携した周遊観光ツアーの実施（大分・別府・由布）
- ・キリシタン南蛮文化遺産活用推進…日本遺産認定を目指す

○中心市街地の魅力向上

- ① 県都中心市街地まちづくりグランドデザインの策定 5,000
- 【関連事業】
- 大分城址公園整備活用事業 15,024
- 大友氏遺跡保存整備事業 1,767,427
- 鉄道残存敷利活用検討事業 2,000
- 街路事業 2,151,322
- （庄の原佐野線県工事・県庁前古国府線・中島錦町線）
- 末広町1丁目地区市街地再開発事業 8,000
- ① 大分駅北側既成市街地未利用地等の利活用可能性を調査・検討 4,000
- ① 中心市街地プロモーション PV等を作成し民間イベントを誘致 5,136

○地域拠点の機能強化とまちづくり

- ① 大分市立地適正化計画の策定着手 23,180
- ① 地域公共交通網形成計画の策定着手 7,924
- ① 周辺地域での団地や商業施設等を繋ぐ循環型交通の可能性調査 1,000
- ① 各支所に伝統工芸品等を展示し地域の魅力を発信 7,500
- ① 地域おこし協力隊を3名配置（野津原・佐賀関・大南） 13,591
- ★ 支所管内道路等整備特別配分枠を1.5倍に拡充 +50,000

連携

○県と連携した公共施設の設置・運営

- ① （仮称）大分市パスポートセンターの設置 9,904
- ① 移住促進「おおいた暮らし塾」への参加やガイドブック、HPの作成等 4,613
- 県立屋内スポーツ施設建設事業（県工事負担金） 21,011

○連携中枢都市圏構想の推進

- ★ 連携協約した広域圏の具体的な取り組みへの検討 +10,000
- 公共施設の広域予約システムの構築を目指す
- ★ 東京事務所に移住相談窓口の設置 UIJターンの推進 +8,045

○市民やNPO等地域コミュニティとの連携

- ① 地域とNPO等との連携事業 3,584
- ★ 校区及び自治公民館の修繕費の補助率や限度額の引き上げ +26,000
- 補助率 1/2→2/3 限度額 1,500→4,000

平成27年度 3月補正

3月補正額	20 億 7,600 万円
3月補正後	1,701 億 9,800 万円

国の補正 予算対応

10億3千万円

○1 億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等

- 保育士の処遇改善（公定価格の改定） 330,000
- 保育所のICT化 事故防止・検証カメラの設置費を補助 81,400
- ものづくり産業の設備投資に対する補助（5件） 50,000
- 情報セキュリティの強化対策 90,000
- 【当初予算】 年金生活者等支援臨時福祉給付金 1,620,000

○TPP関連政策大綱実現に向けた施策

- 農業機械等の導入に対する補助（3件） 11,983
- 災害復旧・防災・減災事業
- 庄の原佐野線街路事業（県工事負担金） 160,875
- 国民生活の安全・安心の確保
- 個人番号カード関連事務費交付金 79,591

通常分 10億4千万円

- 国民健康保険特別会計繰出金 669,653
- 碩田中学校区新設校施設整備 357,000